



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

北茨城復興祭

第5回 市民夏まつり

8月19日、第5回 市民夏まつりが「北茨城復興祭」と銘打って開催されました。オープニングで豊田総市長は、千人近い被災者の不自由な暮らしに言及しつつ、



まつりを契機に元氣な夢のある北茨城市をつくってきたいとあいさつ。会場となった磯原駅周辺は、夜まで多くの参加者でにぎわいました。

昨年引き続き、県内外の支援自治体のテントや出し物も多くみられ、遠い産物を懐かしく購入する姿がありました。また、茨大やキリスト大の学生ボランティアによる子どもたちの遊べる出店や、元水戸泉閣の子ども相撲教室もあり、猛暑の中、元気にまつりを楽しんでいました。



メインステージでは、秋田竿灯の大きかりな山車が披露されたり、夜には女性コーラス「ウーマン・オブ・ザ・ワールド」がリズムカナルな演奏を聞かせ、喝采を浴びていました。

「小中一貫教育校」 関本中学校区で住民説明会

8月23日、関本中学校区で検討されている「小中一貫教育校設置」についての住民説明会が開かれました。市教育委員会では、先に富士ヶ丘小学校と関本第一



(8/23、関本多目的集会所)

小学校の統廃合を進めたいとの見解を示していました。さらに今回、中学校とも統合して一貫校の設置を検討したいとして、地域住民、学校関係者に対して報告をおこなったものです。

質疑応答では、「そもそも小中一貫校とは？」と、より詳細な説明を求める発言や、安全・安心なまちづくりにあたっての学校存続を求める声、子どもたちの人数の将来の予想はどうなのかなどの質問が出されました。傍聴した鈴木やす子議員

ウォルト・ディズニィ展 天心美術館で始まる

8月18日、県立天心美術館で「ウォルト・ディズニィ展」が始まりました。初日から2千人を超える入場者が訪れ、展示作品やアートグッズを楽しんでいました。市や商工会では、期間中の土曜・日曜、美術館の駐車場を利用し、物産テントや子どもたちが楽しめるイベントを催します。



展覧会は10月8日まで。会期中は無休で、金・土は夜8時まで開館します。さらに、磯原駅と天津港駅からの無料シャトルバスが一日10往復運行されます。

は、「小中一貫教育校」のものが充分からならないなかで、設置を検討するといわれても、参加者には戸惑いが大きかったと思う。まだまだ事例も少なく、評価が定まっているものでもない。結論ありきではなく、地域住民の声に聞いていかにこたえながら検討する必要があるのではないかと述べています。

「いじめ」問題対応

この説明会に先立ち、松崎三郎教育長から「いじめ」問題での市の取り組みについて報告がありました。滋賀県大津市での中学生の自殺問題に端を発して、